

文藝言語研究

文藝篇

目次

「規範」(epideixis)としての典礼文 —プロディコスの末裔たち—	秋山学	1
ナガサキで「フランス語の道」を歩んだ人 ——フランス語教師, 引田稔についての研究報告——	齋藤一	27
Ben Jonson とチャペル・ロイヤル少年劇団 —— <i>Every Man Out of His Humour</i> 創作上演時期を中心として	佐野隆弥	47

言語篇

目次

名詞句の特定性と述語の意味	三好伸芳	63
------------------------	------	----

2019

75

筑波大学大学院

人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

編 集 後 記

『文藝言語研究』第 75 巻をお届けする。今回も応募数が少なく、発行を心配したが、何とか 4 篇の論文を掲載することができた。

前号の編集後記にも書いたように、学位プログラム化や予算削減等の関係でこれからの紀要の在り方について真剣に考え直さなければならないときである。ただ紀要の将来的な姿がどのようなものになるにせよ、何より重要なのは、一人でも多くの構成員の方から論文を投稿して頂くという点である。次号以降の積極的な投稿をお願いする次第である。

(竹沢 幸一)

文藝言語研究 (第75巻)

2019年 3月31日発行

発 行 所 筑波大学大学院
人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

茨城県つくば市天王台1丁目1番地

電 話 (029)853-4340 (〒305-8571)

印 刷 所 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE

Literature

CONTENTS

Liturgical Texts as Declamation of Community: Descendants of Prodicus of Ceos	AKIYAMA Manabu	1
A Man Who Walked on “the Road to French Language” in Nagasaki: A Research Report on Minoru Hikida, a French Language Teacher	SAITO Hajime	27
Ben Jonson and the Revival of the Children of the Chapel	SANO Takaya	47

Language

CONTENTS

Specificity of Noun Phrases and Meaning of Predicates	MIYOSHI Nobuyoshi	63
--	-------------------	----

2019

75

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba